

◇1月の代祷・信施奉献先

関する報告

▽主教座聖堂の働きのため

財務主事報告

視覚聴覚障害者伝道のため

・12月末までの会計報告

聖救主福祉会(深川愛の園)

宣教主事報告

まこと保育園、善福寺愛の園

・各委員会の動向について

のため▽カパティランの働き

(書面)

のため

・大斎節の行事礼拝、プログラム予定に関するアンケートを実施中

◇常置委員会報告(1月16日)

を実施中

教区事務所関連報告

主教座聖堂主任司祭報告

・新財務主事として八木達郎

・新年礼拝、教区合同堅信式

氏(聖ペテロ)を任命(1月

での堅信受領者は7教会17

1日付)

名、礼拝参加者は約170名

・信徒奉事者推薦書の受付を

・2月19日から23日、ナザレ

開始

修女会で教役者リトリートを実施

・諸委員長、青年会等のチャ

実施

プレンの任命書を発行

・教区教役者逝去者記念聖餐

・教区会の公示を2月初めに

式の式文改訂版を整備。1月

出す予定

から使用開始

・第129(定期)教区会の

協議事項

決議録の編集を開始

・教役者の主日礼拝奉仕等に

・第127(定期)教区会の

関する出張・旅費規定につ

議事録の精査が終了

いて

・池袋聖公会、東京聖マルチ

・人事について

ン教会、練馬聖方ブリエル教

(次回、2月13日)

会の堅信受領者総会の議題に

◇信仰と生活委員会報告

教会グループ

(1月19日)

・協議会日程など情報交換

・今年度の委員は以下の通り

教区中高生会

司祭下条裕章(常)、司祭太

・「教区中高生会」としてキャ

田信三(常) 司祭ステイー

ンプだけではなく、毎月開催

ブン・クロフツ(常)、長谷

する予定(偶数月が第1土曜

川善樹(常)、新妻夏奈(常)、

日、奇数月が第1日曜日)

渡辺康弘(常)、阿部ゆり(城

・今年のキャンプ日程は8月

南)、大岡基(外濠)、永瀬

16日から19日

良子(下町)、元津毅(山手)、

教区青年会

下泉小波(環状)、石川一男

・新しい世話人として芝田陽

(多摩)

治さん(聖アモテ)が加入

互選で引き続き下条司祭が

・昨年台風のため取り止め

委員長に決定した。

た小笠原の旅を9月中旬に

報告事項

予定

今週・来週の予定

1月28日~2月10日

- 28(日) 顕現後第4主日  
城南G教会協議会(聖マリア)  
山手G教会協議会(聖十字)  
下町G教会協議会(聖ルカ)  
被献日前光の礼拝 キャンドルマス  
(聖アンデレ主教座聖堂)
- 30(火) 財政委員会  
2月
- 2(金) 被献日礼拝:主催 一粒の麦の会  
(聖アンデレ主教座聖堂)
- 4(日) 顕現後第5主日
- 9(金) 教区事務所 職員会議

協議事項

・委員会の目的を確認

・「東日本大震災および…」を覚えて祈るを各教会で毎月11日に近い主日に祈ることを提案

・教区代祷表の修正について確認  
日時：2月3日(土) 14時～16時

・SS、中高生会、青年会に對する信施金の額を委員会であ把握しておく。  
場所：東京諸聖徒教会(都営三田線千石駅)  
参加費：無料

・聖バルナバ教会からのU26(全国の青年集会)に參加する信徒への補助を承認  
問合せ：tokyo.camp2013@gmail.com (次回2月15日)

▽ナザレ研修会

第22回旧約聖書講義

「預言、預言者、預言書(2)」

日時：2月3日(土) 13時30分～15時30分

場所：ナザレ修女会

講師：小林 進 司祭

参加費：500円(神学生無料)

問合せ：090(6537)

9645(渡辺まで)

▽東京教区中高生会開催

第1回目となる今回は、これから中高生会でやりたいことなどを自由に話し合います。

対象年齢：13歳になる年次～18歳  
日時：2月3日(土) 14時～16時

場所：東京諸聖徒教会(都営三田線千石駅)

参加費：無料  
チャプレン：中川英樹司祭  
太田信三司祭

問合せ：tokyo.camp2013@gmail.com

▽礼拝奉仕者黙想会

日時：2月17日(土) 10時から(受付開始9時半)

場所：ナザレ修道院

講師：佐々木 庸司祭

参加費：1500円(昼食代含む)

持ち物：聖書、祈禱書

申込締切：2月11日(日)

主催：礼拝音楽委員会

問い合わせ・申込：大森アグネス教会齊藤まで  
03(3771)3459

◆とこしえの平安

1月12日 天野 茂(89)

諸聖徒

◇主日の福音に聴く

日時：2月1日(木) 14時

場所：聖アンデレ教会・主教座聖堂オフィス

講師：布川 悦子氏

参加費：500円

主催：聖アンデレ主教座聖堂

「奉献先紹介」

巢立ち

今春カパティランから巣立つ、海外にルーツを持つ女子大生の話です。

幼い頃から父親と兄からのDVから逃れるために、フィリピン人のお母さんと弟と東京の郊外の団地を転々とする生活。ようやく平穏かと思っ

たら今度は弟がDVで更生施設に。お母さんも家にこもりつきり。

そんな厳しい生活環境において、彼女は希望を失わず、幼稚園の先生という夢を叶えるため、大学に進学します。昼間は学校、夕方からは宅配寿司のバイトリーダーとして寿司を握り、奨学金で完全自活。

カパティランで最初に出会った頃、彼女は「私は日本人です。」と硬い表情で話しました。「フィリピンもフィリピン人も好きではない。」

とも。ごはん会に参加するようになり、少しずつ彼女は変わっていきます。周りにはみな同じような境遇の子供たち。何か得意料理を作ってくれませんか？とお願いと、彼女が提案したのはフィリピンの家庭料理アドボでした。お母さんにも手伝ってもらって。

みなさんのご支援のおかげで、月例ごはん会、夏の野尻湖キャンプ、教区フェスティバル(アドボが飛ぶように売れました！)、クリスマス。そして初めてのフィリピンでのフィールドワークでは親戚たちとも初対面。「次は言葉を勉強しないと」

実際にイキイキとした表情で話す彼女は出会った頃とはまるで別人でした。

そんな彼女が選んだ職業は、児童養護施設の保育士さん。週末のごはん会で、こんな風に話してくれました。

「私も施設に入る話もあったから、少しは子供たちの気持ち

ちがわかるんじゃないかなって。」

「ああしなさい、こうしなさいではなく、大きな気持ちで包みこむ感じの大人になりたい。」

みなさんの日頃のご支援に心から感謝いたします。

カパティラン

理事長 牧野兼三